

大志連区の歴史と文化を知る会代表

大志子ども会長

大志連区地域づくり協議会長 木村 富雄

① なぜ始まったの：

- ・2013年献馬にとまる子どもが少なくなった本町3商店街から桃花祭への加勢依頼あり
→大志連区内の子どもは誰でも参加可、生きた馬との行事は子どもにも魅力なので快諾
- ・大志小の7割の子がマンション住まいで桃花祭との縁がない →子ども会行事化
⇒2014年子ども達が桃花祭を楽しみ、またその歴史に触れてもらいたいとの思いで
始めました。2024年で11年目、途中コロナで3回中止 →計8回の行列実施

② なぜ歴文会：子どもだけでなく大人も参加するお祭りにしたいと歴文会を作り主催者とした。

③ なぜ似顔絵：桃花祭の馬飾りを集まって短期間で作るのは、あれこれ相談している間に時間がたってしまう・・・ 難しいと判断。

- 似顔絵をリモート（各家庭）で作り、集めれば子ども会らしい馬飾りになると着想。
馬飾りから参加者の似顔絵が見つければうれしい。
立派な刺繍飾り地に似顔絵を飾れば、豪華な馬飾りに変身する。

- 似顔絵集がコロナ期のつながりツールとなり、さらにアルバム構成要素に変化（後述）

④ なぜプロカメラマン：子どもたちの生き生きした姿を望遠レンズでプロカメラマンが撮る

- 写真は祭りの魅力となる（スマホで撮る写真の限界を超える）。

⑤ なぜインターネットに写真をUP：写真を壁に張って選ぶのは時代遅れ。

- ネットに上げて各自写真データをダウンロードしての利用が便利

⑥ なぜ写真冊子/アルバム：進化してきました。

- ・参加してくれた新中学1年生に手作り記念アルバム（集合写真+マイお気に入り写真2枚貼付け）を進呈
- ・コロナ期は、献馬がなくなり、顔合わせもできない子どもたちをつなぐ似顔絵集を配付
- ・手軽、低価格で製本（word編集、出稿）できる時代。似顔絵集と桃花祭写真を参加記念アルバムとして全家庭に配布

⑦ なぜ連区1周：わが街（連区）を知ろう。狭い連区（南北1km、東西700m）なので

- 全町内1周も可能。子ども達の元気な姿も皆さんにお見せできる。

⑧ なぜ法被着用：祭りなら法被。祭りの盛り上げには必須

⑨ なぜ太鼓：昔地域のお祭りで使っていた大太鼓が大志小にある。やはり太鼓の音はよく聞こえ祭りを盛り上げる

⑩ なぜわっしょい：祭りは大きな声で わっしょい！ わっしょい！ 爽快

⑪ なぜ軒花：事前に配り、献馬が近くを通ったら預けに来てもらい交流 →町内との交流ができる

⑫ 馬はどこから：三河地区のイベント用の馬（犬と同じように家庭で家畜として馬を飼っているそうです）。真清田神社が斡旋。献馬賃借料の半額は神社が支援

⑬ 神輿はいつから：2018（H30）年から共催 献馬でも神輿（ゆっくり動く）でも参加できます